



学び合うことを大切にして

研修担当理事 末 C 和 成

学力向上への取組が、学級での取組から学校の組織を生かした取組に、さらには学校内での取組から中学校区単位や市町村単位での取組へと広がってきています。ここでは、教師が互いの実践に学び合うことが大切にされているものと推察します。

勤務校では、文部科学省「学力向上フロンティアスクール」の指定校として、少人数指導の効果的な方策を模索しています。課題だと考えていることは、次の点です。

- 「分かる授業」を求めるあまり、「分かり易く」教え込む授業に陥っていないか。
- 習熟度別指導（2時間程度）においては、画一的に取り扱う傾向がないか。
- 習熟度別指導の前段階の一斉指導こそが重要である。習熟の違いが極力生じないように、授業改善に努めているか。
- 児童は、学び合うことの大切さを感じ、学ぶ意欲が育っているのだろうか。

学力向上の課題解決においては、システムを工夫することは大切ですが、結局は教師の指導力にかかっていると感じております。当校では、学年単位での打ち合せの時間確保に努めており、職員にとっては大切な学び合いの場になっていると見ています。

県小教研では、会員が互いの実践に学び合える場としての「研究集録（毎年度末に刊行）」になるよう、集録内容に工夫を加えてきております。全会員から活用されることを願っております。なお、学習指導改善調査研究事業については、県教育委員会が学力調査を行うことに伴い、県小教研としての事業の再構築に向け、検討を重ねているところです。県内各校の課題解決に寄与するものにしたいと考えております。

平成16年度新潟県小学校教育研究会役員

平成16年度役員の方々は、次のとおりです。

会 長	丸田 勲 (上 越・大町小)	理 事	小林 美智 (新 潟・関屋小)
副会長	岩澤 勝巳 (長 岡・表町小)	"	瀧沢 則夫 (十日町・十日町小)
"	吉川 雄次 (村 上・村上小)	"	多賀 淳一 (西 蒲・巻北小)
理 事	金谷 一郎 (新 潟・山の下小)	"	山本喜一郎 (北 魚・堀之内小)
"	金森 和夫 (長 岡・希望が丘小)	監 査	下越 克男 (糸魚川・糸魚川小)
"	伊藤 順治 (新 潟・御免町小)	"	山田 裕信 (三 条・三条小)
"	槇嶋誠太郎 (新 井・新井小)	"	本多 博行 (新 津・新津第一小)
"	寺田 喜男 (上 越・東本町小)	幹 事	橋本 定男 (新 潟・鏡淵小)
"	江端 周二 (新 潟・新潟小)	"	笹川恵美子 (上 越・国府小)
"	小西 邦明 (見 附・見附小)	"	村山 信一 (上 越・高志小)
"	猪爪 行雄 (柏 崎・柏崎小)	"	片野 誠也 (新 潟・小針小)
"	末C 和成 (新 潟・上所小)		

・ 6月の第1回評議員会において承認されました。